

## 豚熱の発生状況を踏まえた防疫体制の再点検を

本年8月、佐賀県で九州初となる**国内88、89例目の豚熱(CSF)が発生**しました。また、**10月には宮城県及び山形県で野生イノシシの豚熱感染が確認**されています。今回の豚熱発生に関する疫学検討結果及び提言※を踏まえ、畜産関係者は**以下の点に留意し、飼養衛生管理基準の遵守及び防疫体制の再点検**をおねがいたします。

※疫学結果、提言及び今後の発生情報については以下のHPよりご参照ください  
農林水産省HP（豚熱） <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



### 1 農場出入り時の衛生対策

① 衛生管理区域の出入り際には、**専用の衣服や靴を着用し、手指消毒を実施**。また、畜舎ごとに**専用の衣服及び靴設置**しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

◎ 消毒について

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分まで消毒**し、衛生管理区域内で降車する場合は**農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒**を実施しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法

② 消毒液の槽



① 水洗の槽



汚れをしっかりと落としてから消毒!

② 野生動物の侵入防止のための**防護柵設置、定期的な破損個所の点検・修繕**をしましょう。

- 防護柵周辺の**除草**をしておくことも有効です。



車両はタイヤだけでなく、泥よけの内側まで消毒し、フロアマットの交換やペダル等車内も消毒



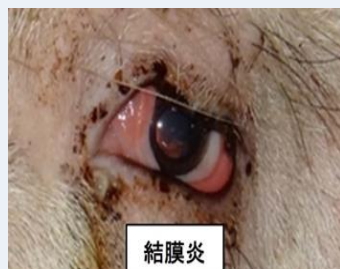
裏面もあります



## 2 異状の早期通報

飼養管理者及び獣医師は**死亡頭数増加、チアノーゼ等の豚熱、アフリカ豚熱を疑う特定症状が認められた場合には直ちに家畜保健衛生所に連絡**ください。

特定症状がない場合でも死亡が継続的にみられるなど、通常と異なる場合でも家畜保健衛生所に相談ください。



結膜炎



耳翼の紅斑 (チアノーゼ)



パイルアップ

## 3 地域における農場間伝播防止

今回の事例を含め、これまでの発生事例においても、豚の移動や車両の共有等といった明らかな関連性がなくても伝播することがわかっています。したがって、**平常時から近隣農場、飼料運搬会社、と畜場等の関係者が一体となって交差汚染防止対策等に取り組み**ましょう。



## 4 地域間の伝播防止

今回の事例では、ウイルスが人、物、車両を介して農場に侵入した可能性が考えられています。野生イノシシへの感染が確認されていない地域へのウイルス拡散や農場への侵入を防止するため、**県を越えた車両受け入れの際の衛生対策を徹底**しましょう。

**飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、または家畜保健衛生所にご連絡ください。**

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目18-25

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810